

11月園だより

こども未来局保育・
子育て推進部
中原保育園
令和7年11月1日

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。

戸外活動をたくさん取り入れながら、体を動かしたり、落ち葉などの素材を使って遊んだり、
季節の変化を感じながら好きな遊びを思い切り楽しんでいきたいと思います。



今月の予定

- 6日（木） ひまわり組（4歳児） 遠足
- 7日（金） ゆり組（5歳児） 遠足
- 8日（土） 親子でわくわくする会（乳児）
業者による写真撮影
（いちご組 0歳児・
もも組 1歳児・みかん組 2歳児）
- 11日（火） 害虫駆除
（0歳児クラスは行いません）
- 12日（水） ちゅうりっぷ組（3歳児） 遠足
- 13日（木） 歯科健診
- 19日（水） 業者による写真撮影（全クラス）
- 20日（木） 年長交流会 ※雨天27日（木）
- 27日（木） 園医健診
（もも組 1歳児・ゆり組 5歳児）



・実習生や職業体験の生徒がクラス保育に入ります。詳しくは、1階廊下の掲示板をご覧ください。



園長コラム

川崎市子どもの権利に関する条例、第5条2「かわさき子どもの権利の日は11月20日とする。」と記載があります。

4月の懇談会でも、玄関に「川崎市子どもの権利に関する条例」の冊子があるから見ていってくださいねー。
「人間としての大切な子どもの権利」が載ってます。とお伝えしたと思います。

- ① 安心して生きること ② ありのままの自分であること ③ 自分を守り、守られること
- ④ 自分を豊かにし、力づけられること ⑤ 自分で決めること ⑥ 参加すること
- ⑦ 個別の必要に応じて支援を受けること

先日、職員研修で「子どもの人権を尊重した保育」というテーマで、その中の「からだについて」の研修を受けました。保育園でもプールが始まる前に「プライベートゾーンについて知り、自分や友達を大切にしたい行動がとれる」というねらいで「大切な体について」や「大事な部分はどのように守ればいいのか」を健康集会で子ども達と話し合いました。いくつもある人権のひとつ、これも人権であると日頃の保育の中でも、あらためて感じています。

子ども達を真ん中に、子どもの人権を守り、「子ども達に最善の利益を」を大事にし私達は保育していきます。

～親子でわくわくする会に向けての様子～



～いちご組 0歳児～

いちごさんがいつもお部屋で楽しんでいる遊びを保護者の皆さんと一緒に楽しみたいと思います。3つのコーナーに分かれて、運動あそびコーナーでは巧技台や斜面のよじ登りなど、触れ合い遊びコーナーではいつもは担任と楽しんでいる大好きな「バスに乗って」などを親子でたっぷり楽しんでもらおうと思っています。親子で制作コーナーでは最近楽しめるようになったシール貼りをしながら可愛いものを作る予定です。

～もも組 1歳児～

走る、登る、跳ぶ、くぐる、など様々な動きができるようになり、体を使った遊びが大好きなもも組さん。担任によじ登ったりもするほどダイナミックな触れ合い遊びも大好きです。当日は、元気いっぱい体を動かす遊び、スキンシップたっぷりのふれあい遊び、大好きな体操、お楽しみシアターを保護者の方と楽しみたいと思っています。笑顔いっぱい！楽しい時間になりますように♪

～みかん組 2歳児～

手遊びや歌が大好きで毎日楽しんでいます。当日は親子で手作り楽器（はさみやのりを使います）を作りみんなで『きのこ』の曲に合わせて楽器を鳴らしたり歌をうたったりしたいと思います。

その他にも普段子どもたちが楽しんでいるコーナー遊び（体を動かす）もあります。

最後に職員の出し物もありますのでお楽しみに！



11月20日は「かわさき子どもの権利の日」です

川崎の子どもにとって大切な子どもの権利を大きく7つに分けた物です。パンフレットが玄関にあります。ぜひご覧ください。

中原保育園のゆり組(5歳児)で行われているおはなしタイムの様子をご紹介します。



テーマ:秋の遠足の場所を決める

春は全員で行けなかったから今回は車いすのお友達も全員で行けるところがいいな！と話す「等々力緑地」と「多摩川の土手」が候補に上がりました。

子:多数決がいいよ！ 子:いやだ！絶対多摩川の土手がいい 子:こっちも絶対等々力がいい！ それぞれに候補の場所のいいところを話してもらううち、どっちでもいいよという子が増え、最終的には代表がじゃんけんで決めることになりました。

年間を通し、こうした話し合いを重ねて自分たちで、行事や困ったこと、疑問に思ったこと、ルールの確認などを全体で話し合い、クラスの方向性を子どもたちとみんなで決めてきました。時には喧嘩が起きることもあります。自分とは違う意見がある事を知ったり、そこに耳を傾けたり、認め合い、対話の楽しさを知っていく過程の途中の子どもたちです。